

の中にも、總本部を支持するものが多数あるといふことであるが、本部はこれに對して如何なる處置をとるか。

前川氏「北海道聯合會が會議派支持を表明したことも、道内総本部支持者のいることも事實であるが、現在の農民組合の勢力は三、二五、以て力が非常に弱い。

農民は内地で没落して一旗あげやうと言ふ意圖をもつて居る實に理窟の多い人達が多いので、組織も非常に困難であるし、更に同じ一ヶ月も滞在して運動するには百円以上もかかるので、財政上より見ても度々行くことが出来ないと直接にドウ、コウと處置をとることは大げさい。

岡山縣聯合會（入谷氏）「社会人衆党と組合との組織上の問題は如何に處理したか」

前川氏「全農と社大衆との組織上の關係は支持してある時は問題であるが、現在はそれは何等問題とならぬ。」

以上は主なる質問の内容であるが、本部報告は滿場一致を以て承認された。

これに次いで議長は青年部の報告を、増田操氏に命じた。

増田氏「青年部の活動は昨年度は餘り活発でなかつたのであるが、昨年の大会直後に於て、社民、労大党の合同に際しては、これを右翼的轉向であると反對したが、八月會議で組合は政社支持の問題は自由に決した。八、一、反戦カンパ、三エールカンパには指令を出したが、何事も交渉もなかつたのである。これは中央書記局の怠慢が如くは見えないか、あるが、一つは人と財政が缺けて居り、實質的には青年部が建設されてゐないためである。だが、地方的には先頭に立つて活躍して来てゐる。昨日も全副代表者會議を以て嚴重な自